

事務事業名	地域防犯活動助成事業	整理番号	24202-000
所 管	くらしの安全課 相談・安全スタッフ		

事務事業の位置付け

期間	平成 18年度 ~ 平成 年度	根拠法令・要綱等	御殿場市地域防犯活動支援事業費補助金交付要綱
基本計画における位置付け	基本政策 2-4 安全な暮らしの確保 政策 2-4-2 防犯体制の充実	関連政策	2-4-3 良好な生活環境の確保 5-1-1 市民参画の促進

事務事業の内容

目的 (何のために)	地域ぐるみで行う自主防犯活動に対して助成をすることにより、市民の身体、財産に危害を及ぼす危険のある犯罪の防止を促進することを目的とする。
対象 (誰・何を)	全市民、各区
手段 (どのようなやり方で)	地域が自主的に行う防犯活動に対し、補助金を交付する。(立上げのための経費は 5 0 万円を限度、次年度以降継続のための経費は 1 0 万円を限度とする。)
成果 (どのような状態にしたいか)	犯罪に対する意識の高揚を図ることができるとともに、犯罪件数の減少、特に、市民が「住みやすく、安全・安心なまち」であると体感できる。
事務事業の背景・住民の意向 見直し改善の経過	各地で起きている児童を狙った悲惨な犯罪情報を目の当たりにし、警察だけでなく、犯罪を未然に防ぐための地域の防犯活動が重要であるという機運が高まっている。特に小学校区を中心とした自主防犯組織が立ち上がりつつある。

事務事業の実績・投入コスト

年度	事務事業実績	投入コスト(千円)
平成16年度		
平成17年度		
平成18年度	・御殿場市地域防犯活動支援事業費補助金交付要綱の制定 ・市内小学校区 1 0 校区のうち 8 校区で自主防犯組織が立ち上がった。	

評価指標

<p>自主防犯組織1団体当たりの経費(円)</p>	<p>自主防犯組織の立上りの割合(%)</p>	<p>犯罪認知件数の対前年との比較(%)</p>
---------------------------	-------------------------	--------------------------

事務事業の評価

観点別・一次評価(担当部署の評価)	コメント											
<table border="1"> <tr> <td rowspan="3">観点別評価</td> <td>必要性</td> <td></td> </tr> <tr> <td>有効性</td> <td></td> </tr> <tr> <td>効率性</td> <td></td> </tr> <tr> <td>一次評価</td> <td colspan="2">A</td> </tr> </table>	観点別評価	必要性		有効性		効率性		一次評価	A		<p>組織が立ち上がったばかりであり、維持、継続が課題として残るが、組織を有効的に活用し地域との連携を更に図り事業推進を図る。</p>	今後の方向性
観点別評価		必要性										
		有効性										
	効率性											
一次評価	A											
継続												
二次評価(行政評価委員会の評価)	コメント											
二次評価	B		今後の方向性									
継続	自主防犯組織づくりの推進を図られたい。		継続									

改革プラン

平成19年度からの対応	18年度に立ち上がらなかった地区の立上げに対し助成するとともに、他の組織の継続、活動の充実の援助を行う。
平成20年度以降の対応	各組織の活動を確実にする機能の充実を図りたい。また、県の補助制度が見直されることもあり、市でも制度の検討を行い、組織と密着した活動ができるような体制を整える。
改革により予想される成果	現在は、助成することが主眼となっている事業であるが、各組織との連携が密になることにより、さらに強力な防犯体制ができる。